

## 師匠は息子

三井共同建設コンサルタント(株) 吉田 匡宏

10月25日…その日はとても霧が深かった。息子の好きな海釣りにとうとう付き合うことになり、初めての舟づくりとなる。

しかし今日はなかなか出航しない。酒でイライラを紛らしている人、ジーンと無口に人々の会話を聴いている人、さまざまに舟の出るのをただひたすら待っている。

7時頃だろうか、スーッと霧が晴れて来た。すぐ酔いドメのアンブルを1本飲み舟出だ。

しばらく進むと外洋に出たのか波が荒く、舟底を打つ波の音が響き大きく舟が揺れ、舟縁にしっかりと体を固定させ、大型漁礁とはどんなとこだらう等と考えてると、少々舟酔いになってきた。なにしろ生まれて初めての舟での釣り、こんな思いをして皆、楽しいのかな？

やっとの思いで目的地に着くが、釣りをやる気分になかなかない。

すぐ隣の息子は持参した釣り餌（貝の削ぎ身のような）とかいろいろ餌を付けて、すぐ一匹釣り上げる。釣れるとなればすぐ隣に居る俺だってなんとかなるぞ…。指に針を刺しイテーイテー等と云いながら取りあえず釣り人となる。

“釣れね～ぜんぜん釣れね～”

又隣のヤロー釣り上げる。かなり大きなカレイだ。（後の計量で40cm700gとか）なんだ!!

しかしきました…。20分程したでしょうか、気の良いお魚が私の針に引っ架かってきた。

アイナメとか云われている魚だそうだ。

どの位舟酔いをこらえて釣っていたらう。波がだんだん大きくなり出した。

船頭の一言で早目に切り上げる。

船頭はエライ…こんな天候の時は早めに止めるのが一番。生活かかっている訳ではないんだから。しかし帰りの舟が又大変。バケツで海水を頭あら浴びせられてるような状況で全身ビショビショ。陸地に足が着いた時には、2度とこんな釣り等ヤラネーぞ…と思った。

やがて順位の発表…なんと伴の奴が2.6kg釣り上げて優勝だと。俺は1kgにも足りない成果。それでも5匹程気のいいお魚ちゃんがいてくれて、初の舟釣りにしてはまあまあでしょうか？

良い漁場へ案内してくれた船頭さんありがとう。

しかし伴の釣り好きにも困ったものだ。月平均3回から5回この5年程飽きずに海釣りに行くのだから少なくとも俺より釣れて当然だろう。それにしてもその情熱には頭が下がる思いである。その集中力を勉強に向けてくれたら…等と思うのは親の身勝手だろうか。

私は初参加でしたが、息子は3回も参加させていただき、いつも世話役となり暖かく受け入れてくれる篠田さん、中川さん…そして参加の皆様誌上を借りて感謝致します。